

科目名	筋・骨格系疾患			授業の種類	講義	講師名	
授業回数	8回	時間数	15時間 (1単位)	配当学年・時期	救急救命士科1年		必修・選択 必修

## 〔授業の目的・ねらい〕

疾患の病態生理や診察所見などを解説し、障害が起こった時の所見を理解できるよう授業を行う。

## 〔授業全体の内容の概要〕

テキストとプリントを用いて授業を行う。  
神経系(運動障害、感覚障害)の観察項目、評価法、概要の復習。  
その後、筋・骨格系疾患へ。  
重要なポイントはプリントの練習問題で自習する。

## 〔講師の実務経験〕

## 〔授業終了時の達成課題(到達目標)〕

授業で出てくる各検査法を理解している。  
検査法に関連した解剖学、生理学等の知識を理解している。  
疾患(障害部位)によってみられる所見を理解している。

回数	講義内容
1	神経の解剖、上位運動ニューロン～筋疾患、脊髄損傷(中心・後方)
2	脊髄損傷(前方・半側・横断)、バレー徴候、錐体外路
3	練習問題
4	〃
5	脊椎疾患
6	関節疾患
7	筋疾患
8	復習、練習問題
	定期筆記試験

## 〔準備学習・時間外学習〕

## 〔使用テキスト〕

書籍名	著者名	出版社
救急救命士標準テキスト下巻		へるす出版
診察と手技がみえる		メディックメディア
病気が見える 脳・神経		メディックメディア

## 〔単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など)〕

終講時試験。履修規定に準じる。